

日本透析医学会統計調査からみた 全国、北海道における透析療法の現状

日本透析医学会 統計調査委員会

仁友会北彩都病院 和田篤志

COI 開示

発表者名： 和田 篤志

**今回の発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。**

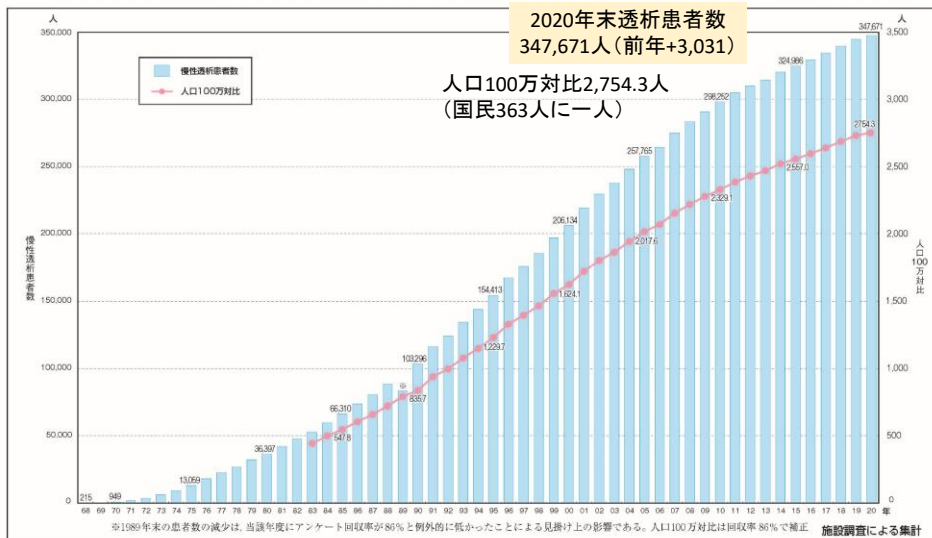
また、今回の発表内容の一部は日本透析医学会WADDAシステムを用いて出力した帳票に基づいていますが、解析、結果および解釈は私独自のものであり、同会の考えを反映するものではありません。

開示すべきCOI関係にある企業などはありません。
また、今回の発表内容の一部は日本透析医学会WADDAシステムを用いて出力した帳票に基づいていますが、発表内容に関する解釈、考察は私個人の考えであり、透析医学会の考えを反映するものではありませんので、ご了承ください。

2020年調査における透析の現況

それでは、2020年の年末調査における統計調査の結果についてお示しします。

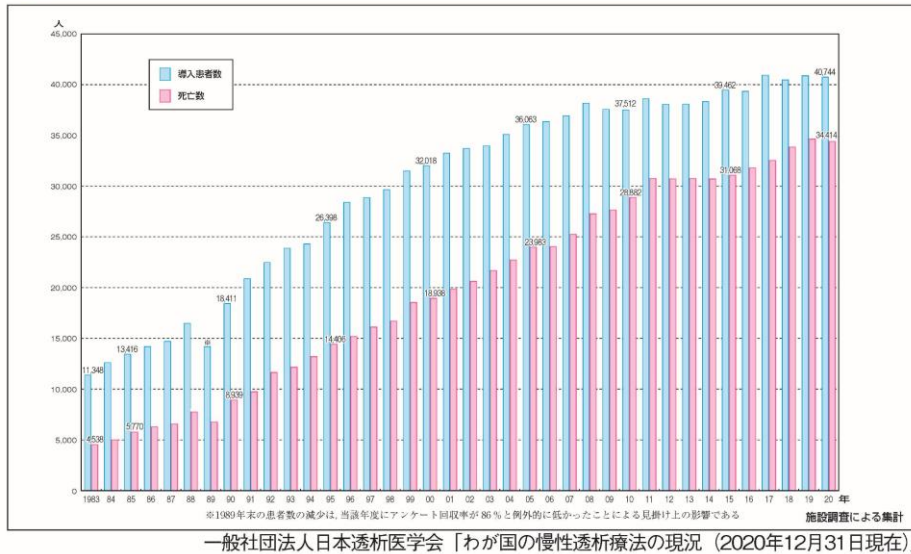
慢性透析患者数と有病率の推移



一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況(2020年12月31日現在)」

2020年末の慢性透析患者数は34万7671人で、前年から3,031人増加しました。国民363人に一人が透析患者という計算になります。透析患者数は増加していますが、徐々に頭打ちとなっています。米国腎臓データシステム(USRDS)によると、日本の透析有病率は台湾に次いで世界2位とされています。

導入患者数及び死亡患者数の推移



2019年の新規導入患者数は4万744人、死亡患者数は3万4,414人でした。
 導入患者数は最近ほぼ横ばいで経過しているのに対して死亡患者数は増加傾向
 にあり、
 つまり全体の患者数増加が頭打ちになっていることを示しています。

2020年末わが国の慢性透析療法の現況
北海道

透析施設の現況(施設調査による集計)	
対象施設数	261
回収施設数	258
ベッドサイドコンソール台数	6,906
同時透析	6,857
最大収容	22,240

人口100万対比	3130.6
----------	--------

2020年末透析患者のうち、夜間透析患者数	1,001
-----------------------	-------

2020年HD(F)等で新規に透析導入した患者数	1,773
--------------------------	-------

2020年PDで新規に透析導入した患者数	128
----------------------	-----

2020年 新規導入患者総数	1,901
----------------	-------

2020年 透析患者死亡数	1,763
---------------	-------

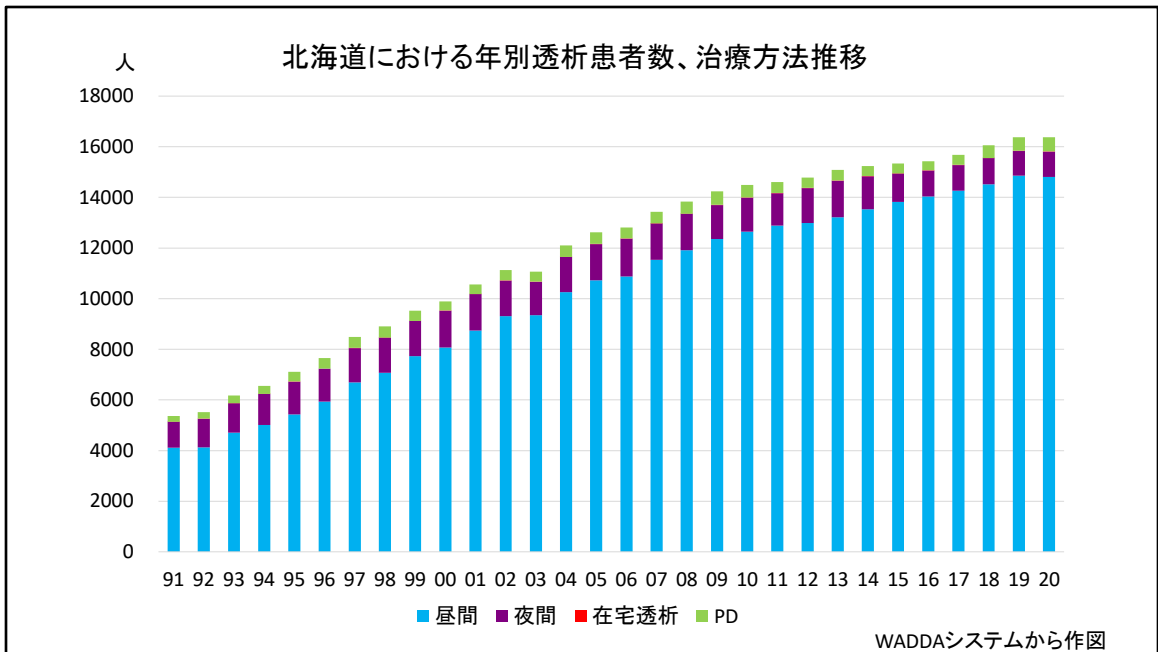
(C)Japanese Society Dialysis Therapy
2020年末調査

透析患者数(施設調査による集計)							
治療方法		通院		入院		合計	
血液透析等	血液透析(HD)	6,209	(42.7)	1,326	(72.6)	7,535	(46.0)
	血液透析濾過(HDF)	7,694	(52.9)	473	(25.9)	8,167	(49.9)
	血液濾過(HF)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
	血液吸着透析	102	(0.7)	3	(0.2)	105	(0.6)
	在宅血液透析	10	(0.1)	0	(0.0)	10	(0.1)
腹膜透析等	腹膜透析(PD)	424	(2.9)	18	(1.0)	442	(2.7)
	週1回のHD(F)等との併用	99	(0.7)	4	(0.2)	103	(0.6)
	週2回のHD(F)等との併用	2	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.0)
	週3回のHD(F)等との併用	0	(0.0)	1	(0.1)	1	(0.0)
	上記以外の併用	4	(0.0)	1	(0.1)	5	(0.0)
小計		529	(3.6)	24	(1.3)	553	(3.4)
2020年末透析患者総数		14,544	(100.0)	1,826	(100.0)	16,370	(100.0)

かっこ内は列方向の合計に対する%です。

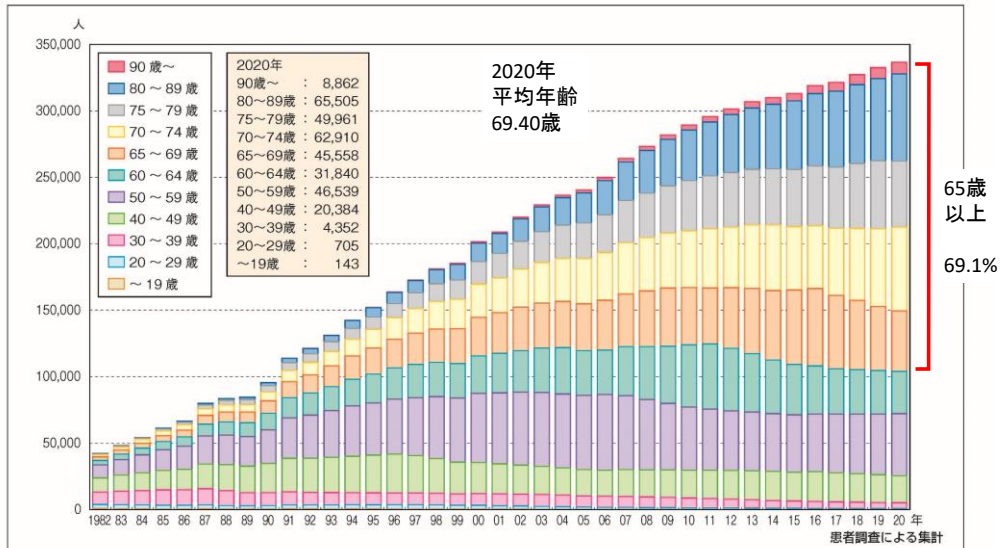
2020年北海道の調査では、透析患者数総数16,370人(前年-7)と前年よりも減少しました。

新規導入患者数が1,901人(前年-127)と前年よりも大きく減少したのに対し、死亡患者数は1,763(前年-18)人と、最近では新規導入数と死亡患者数の差がますます小さくなってきています。



北海道における患者数は10年ほど前から頭打ちでしたが、ついに2020年、全国に先立ち前年を下回りました。
 夜間透析は年々減少傾向にあり、昼間透析は2020年で90.4%を占めています。

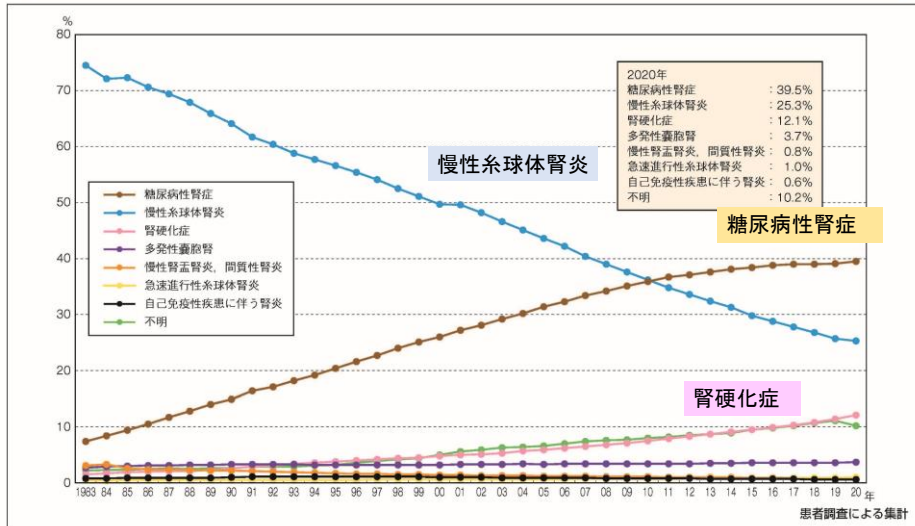
慢性透析患者 年齢分布の推移



一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況（2020年12月31日現在）」

透析患者の高齢化は年々進行しており、2020年末の平均年齢は69.4歳でした。65歳以上の割合も増加し、2020年末で全体の69.1%を占めるまでになりました。

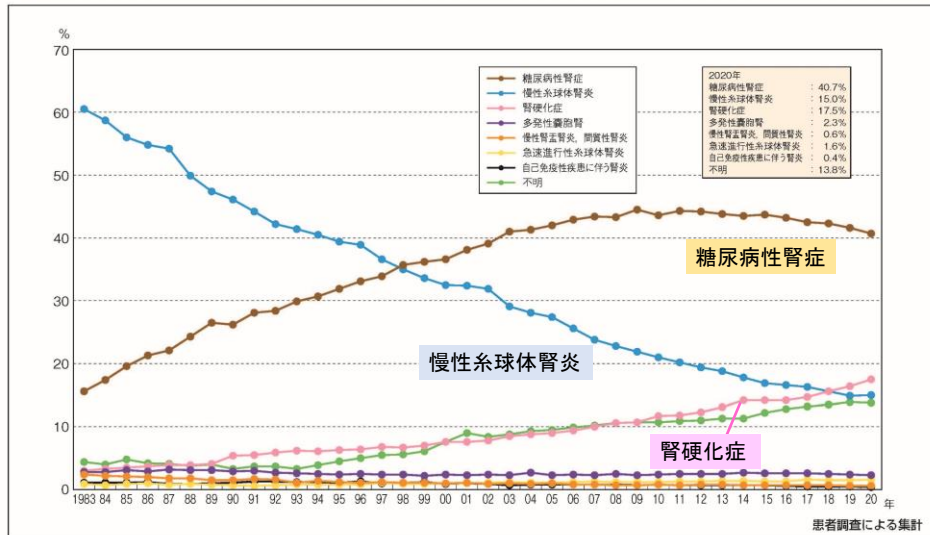
慢性透析患者 原疾患割合の推移



一般社団法人日本透析医学会 「わが国の慢性透析療法の現況 (2020年12月31日現在)」

2020年の透析患者原疾患は第1位が糖尿病性腎症で39.5%、第2位が慢性糸球体腎炎で25.3%、第3位腎硬化症12.1%でした。
 順位は前年と同様ですが、慢性糸球体腎炎の減少、腎硬化症の増加傾向が続いています。

透析導入患者 原疾患割合の推移

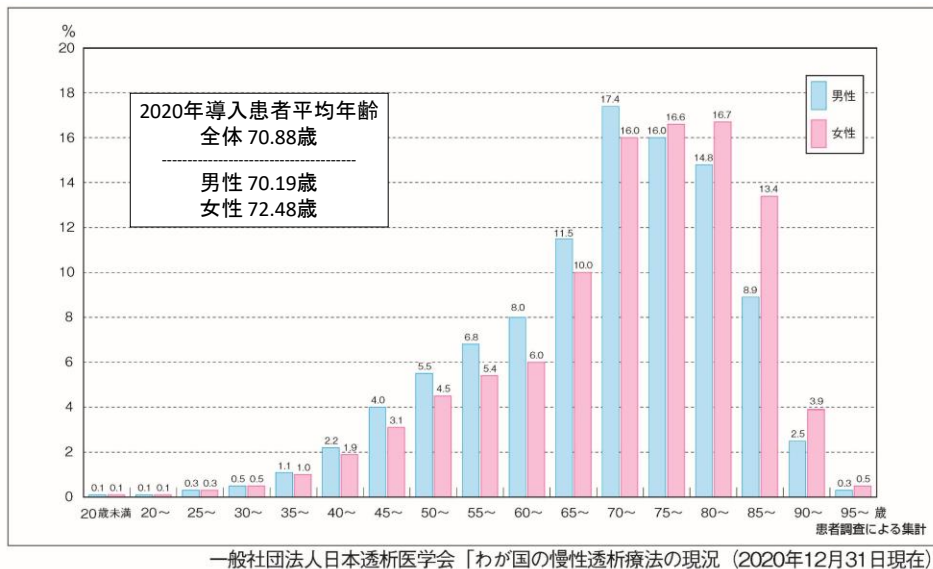


一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況（2020年12月31日現在）」

透析導入患者の原疾患は、第1位の糖尿病性腎症は2010年頃から減少傾向が続いています。

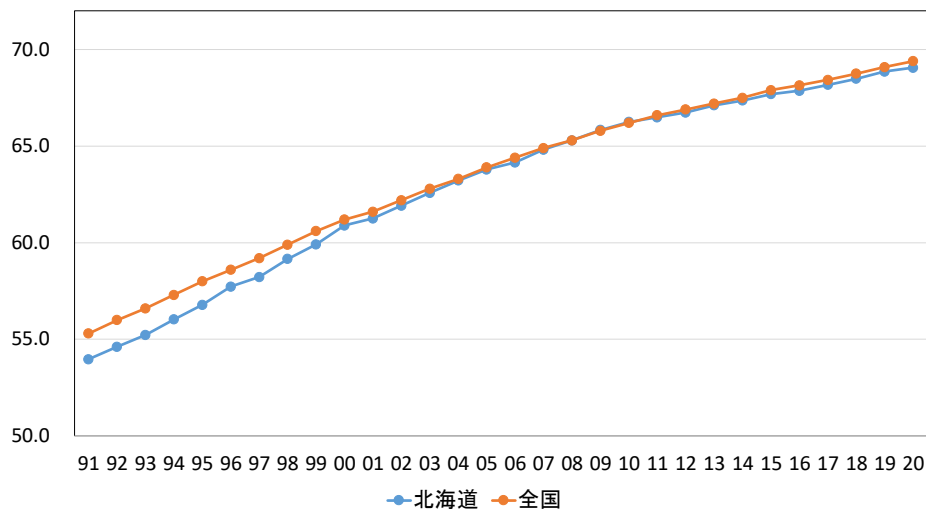
一方腎硬化症は、2019年に慢性糸球体腎炎と順位が入れ替わり第2位となりましたが、その差はさらに開いています。

透析導入患者 年齢と性別



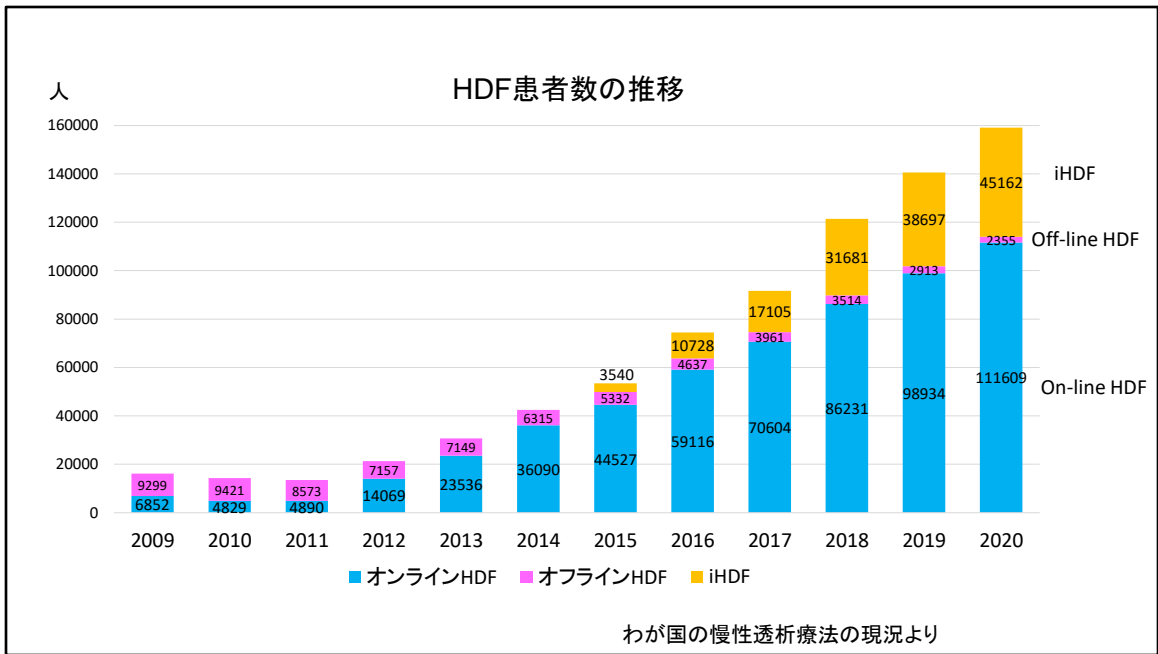
透析導入患者においても高齢化は進んでおり、2020年導入患者の平均年齢は70.88歳（男性70.19歳、女性72.48歳）と、男性も70歳台に達しました。5歳刻みの年齢分布をみると、最も多い年齢層が女性80～84歳、男性で70～74歳であり、非常に高齢者が多いことがわかります。

年末透析患者平均年齢 北海道と全国の比較



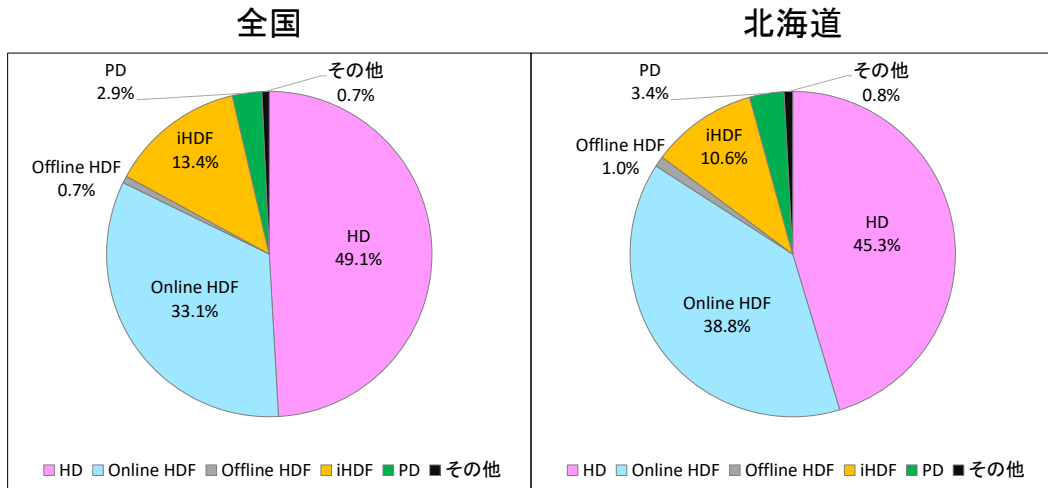
WADDAシステムから作図

透析患者平均年齢については、2000年以前は北海道で低値でしたが、最近はほぼ全国と同様に推移しています。



HDFについては、透析液の超純水化達成率増加および2012年からオンラインHDFに保険点数が認められたのを契機に大幅な増加を続けており、2020年末でHDF患者数は約15万9千人に達しました。

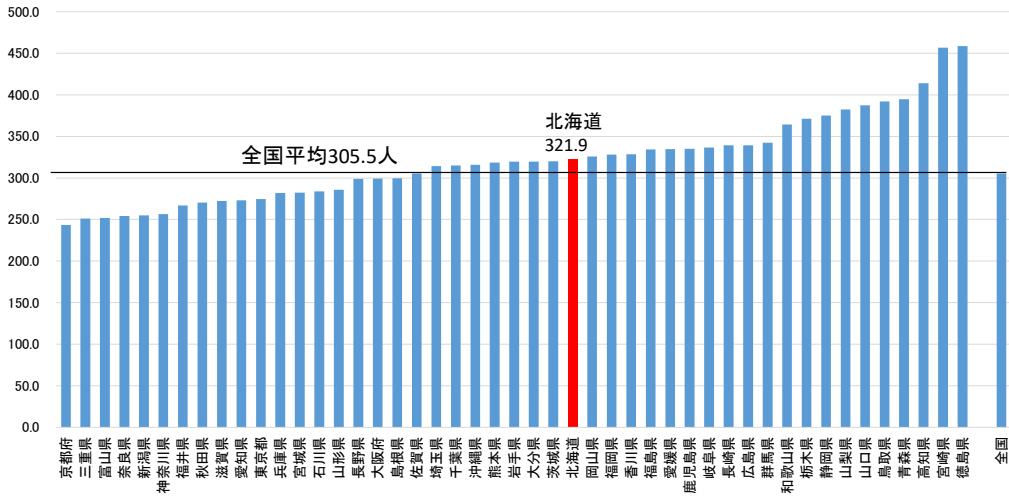
2020年末患者治療方法 全国と北海道の比較



WADDA systemによる解析

年末患者全体における透析方法について北海道と全国を比較しました。全国ではHDが49.1%と2020年に初めて半数を割り、HDFは全体の47.2%を占めていました。北海道では全国よりもHDFが多く全体の50.4%と半数を超えていました。北海道ではOnline HDFが多い特徴がみられます。

都道府県別新規導入患者数 人口100万対比

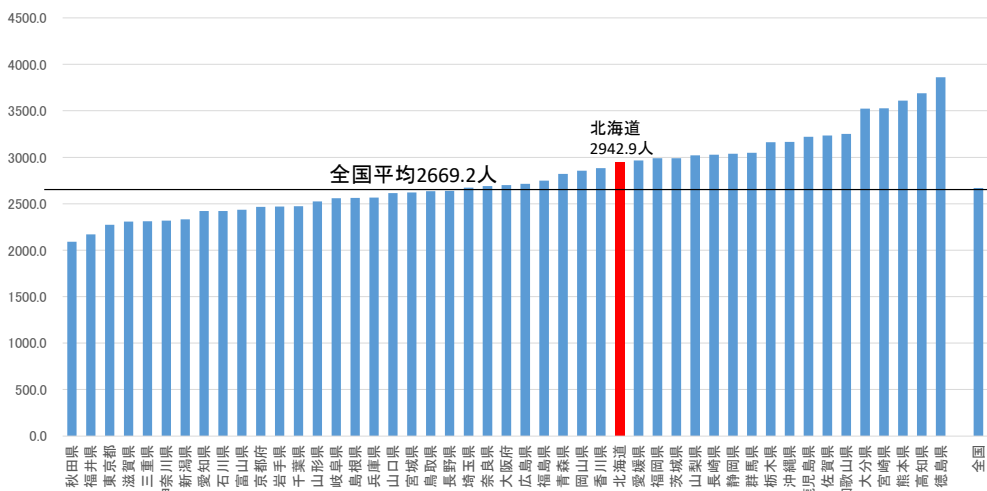


※都道府県別の人口補正などは行っておらず、単純な比較はできません

2020年データ WADDA systemで集計

2020年の新規導入患者数を都道府県別に人口100万対比の順に並べたグラフです。全国平均305.5人に対し、北海道は321.9人とやや高値ですが全国順位はほぼ中ほどに位置していました。ただし、このデータは人口補正など行っていない生データですので、単純な比較はできないことにご留意ください。

都道府県別年末患者数 人口100万対比

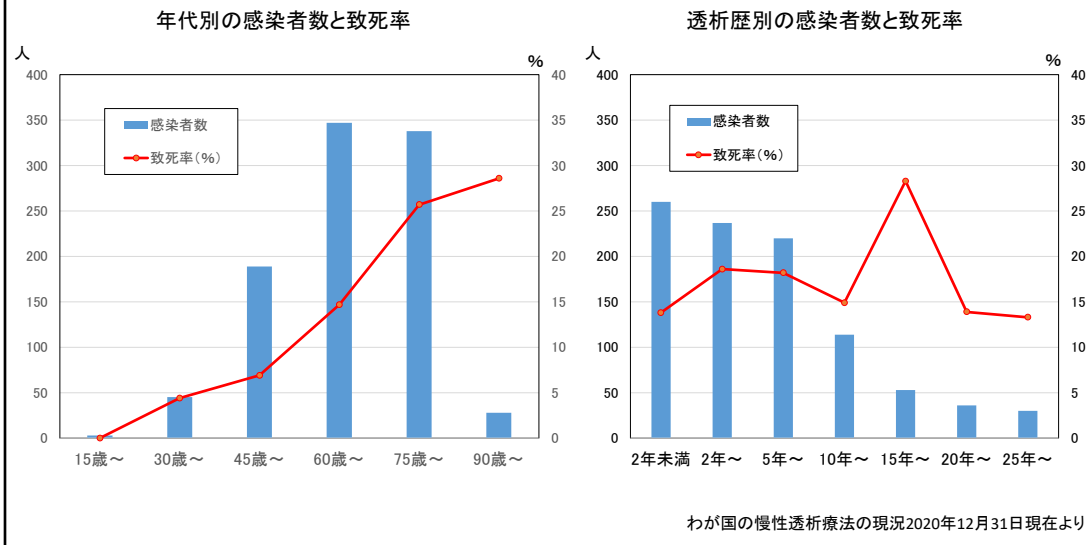


※都道府県別の人口補正などは行っておりません、単純な比較はできません

2020年データ WADDA systemで集計

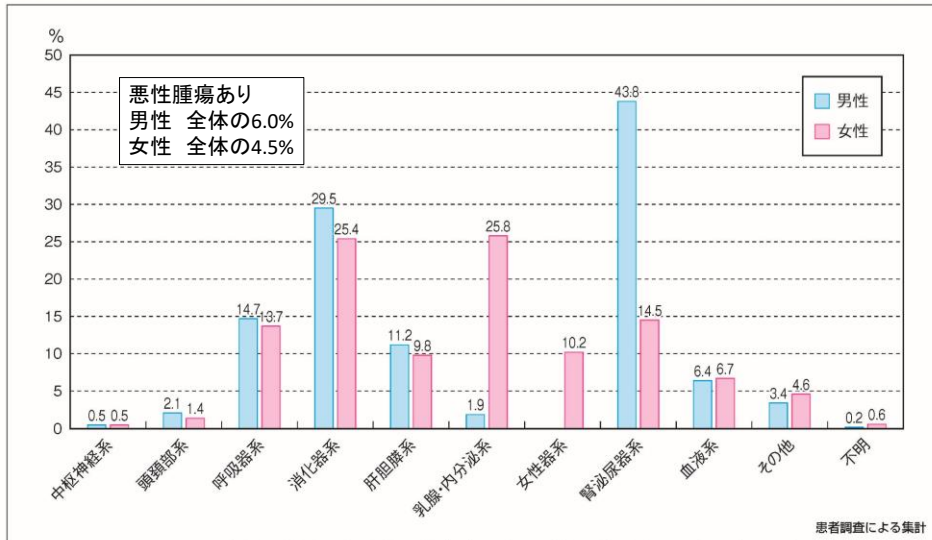
人口100万人あたりの年末患者数についても、北海道は2942.9人と全国平均2669.2人よりもやや高値に位置していました。

新型コロナウイルス感染症 年代別、透析歴別の感染者数と致死率



2020年から新型コロナについて調査が開始され、新型コロナウイルス感染症に罹患した950例について、年齢、透析歴と致死率の関係を検討しました。年齢に関しては30～44歳の若年でも致死率は4.4%と高く、加齢とともに上昇、75歳以上では25%以上と非常に高値でした。一方、透析歴に関しては透析歴15～20年で高値でしたが、透析歴との明らかな関連は認めませんでした。

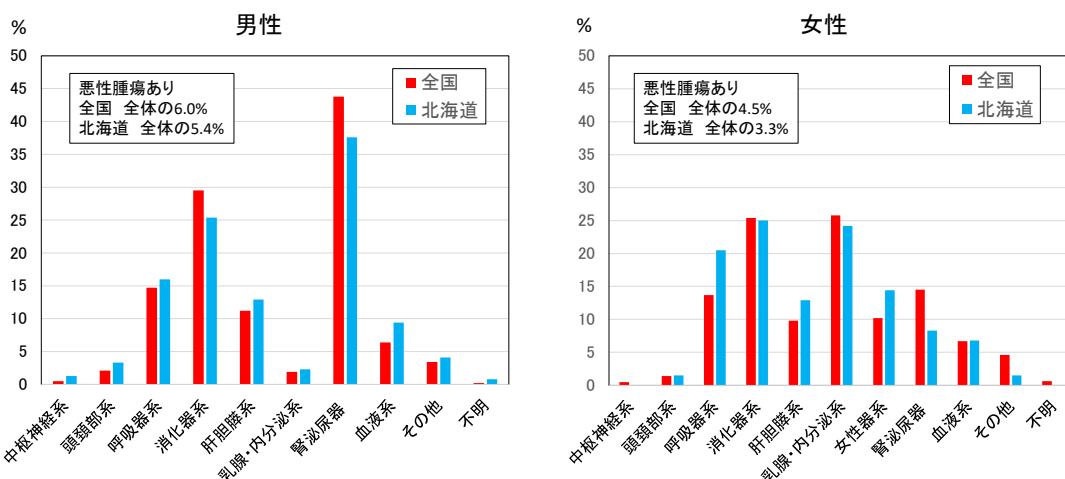
悪性腫瘍がある患者での、悪性腫瘍の種類と性別（重複あり）



一般社団法人日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況（2020年12月31日現在）」

2020年は悪性腫瘍に関する調査が行われました。何らかの悪性腫瘍に罹患している率は男性6.0%, 女性4.5%と男性で効率でした。
男性では腎泌尿器系が1位(前立腺癌含む)、女性では乳腺・内分泌系が1位でした。

悪性腫瘍がある患者での、性別悪性腫瘍の種類 全国と北海道比較



WADDAシステムより作図

悪性腫瘍に関して北海道を全国と比較すると、罹患率は男女とも北海道で低率でした。

北海道は男性では消化器系、腎泌尿器系が低く、女性では呼吸器系、女性器系が高く、腎泌尿器系が低値を認めました。

WADDAシステムについて

今回のデータには、Web上の自動集計プログラムであるWADDAシステムを多く使用しています。
JSDT会員の皆さんはどなたも使用可能なシステムですので、最後にご紹介します。

☰ 会員の方へ

- ▶ 重要なお知らせ
- ▶ 学会誌
- ▶ わが国の慢性透析療法の実況
- ▶ **WADDA System Ver2.1**
- ▶ 専門研修指導マニュアル
- ▶ 施設・賛助会員検索
- ▶ 専門医・指導医 登録単位の

重要なお知らせ

2021年01月19日	2019年末統計調査の集計結果について
2020年12月25日	コメディカルスタッフ研究助成金の申請について
2020年11月09日	秋期研修セミナー（WEB開催）の配信期間終了について（ご
2020年10月06日	日本透析医学会2020年末統計調査について
2020年10月06日	日本透析医学会 統計調査へご協力いただける施設の皆さまへ

利用規定に同意

JSJTのウェブサイトから会員ログインすると、WADDAシステムのボタンがありますので、クリックして利用規定に同意してください。



これがWADDAシステムの初期画面です。例として2017年の都道府県別、治療法分類の表を作成してみます。
 まず帳票を作成する調査年を選択します。現在2006年から2019年までが使用可能です。ここでは2017年患者を選択します。

調査年

※BMIやnPCRなどの計算項目では、小数点以下の微小な数値に対するコンピュータ処理（浮動小数点数演算）の関係で、まれにCD-ROM帳票の内容と1、2例のずれが生じる場合があります。ご了承ください。

集計対象 年末患者 新規導入患者（年内死亡、離脱、移種含む） 新規導入死亡患者 調査年死亡患者

縦軸・横軸 /

パーセント表示 縦軸 横軸 無し
※集計に時間がかかります。

中央値・四分位数を表示する はい いいえ
※集計に時間がかかります。

絞り込み
※選択条件を指定する場合は、設定したい項目を選択してください。

※範囲条件を指定する場合は、項目を選択し追加を行ってください。
※追加した項目の範囲を指定できます。

表を作る変数は、調査したほぼすべての項目から選ぶことができます。まず縦軸に在住都道府県を選択し、横軸に治療方法詳細を選択します。「集計する」ボタンをクリックすると、1分前後で集計結果が表示されます。

WADDA System Ver2.1 (更新日時: 2019年8月27日) [更新履歴](#)

調査対象年: 2017年患者

集計対象: 年末患者

院種: 在宅診療所
機種: 治療方法詳細

[戻る](#) [エクセルのダウンロード](#)

	血液透析(在宅血液透析を除く)	血液透析(オフラインHDF)	血液透析(オンラインHDF)	血液透析(プッシュプルHDF)	アセートフリー(バイオフィルトレーション)	HDF	血液濾過	血液吸着透析(リクセル等使用)	在宅血液透析	血液濾過
北海道	9123	332	4117	3		17	693	0	81	10
青森県	1588	27	1086	0		1	670	0	8	3
岩手県	2669	48	216	0		2	113	0	11	0
宮城県	4036	18	1206	0		0	213	0	14	1
秋田県	1397	80	365	0		13	81	0	4	2
山形県	1608	9	761	0		0	41	0	4	12
福島県	3326	176	815	3		0	474	0	21	1
茨城県	6106	195	1292	0		1	269	0	41	15
栃木県	4288	86	938	0		3	116	0	10	2
群馬県	4239	125	1111	1		17	39	0	1	11
埼玉県	11446	261	4666	1		1	1034	2	62	81
千葉県	9571	125	3004	8		4	1472	1	30	19
東京都	18562	449	8239	12		25	1763	4	152	65
神奈川県	14404	260	4230	0		46	567	15	72	40
新潟県	4206	50	534	0		11	160	1	23	1
富山県	1922	55	430	0		0	16	0	11	3
石川県	2115	72	371	0		1	48	0	24	5
福井県	1015	57	436	0		1	155	0	5	3
山梨県	1455	35	573	0		6	220	0	6	3
長野県	3169	124	1641	1		11	138	0	14	17
岐阜県	3863	27	782	1		2	194	0	30	26
.....

このように集計表が表示されます。このデータはエクセルファイルの形でダウンロードできますので、その後グラフ作成など自由に加工することもできます。

WADDAシステム 利用規定の概要

本システムの使用は個人正会員・施設会員・賛助会員に限定。
帳票の第三者供与や、商用目的の利用は禁止。

日本透析医学会の許諾を得る必要はない。
必要に応じて研究に対する所属施設等の倫理審査を受ける。

著者責任を発表中あるいは出版物中に明記する。

例

「本研究内容は日本透析医学会が提供するWADDAシステムを用いて著者が出力した帳票に基づいているが、結果の利用、解析、結果および解釈は発表者・著者が独自に行ったものであり、同会の考えを反映するものではない。」

WADDAシステムは個人会員、施設会員であればどなたでも無料で使用することができます。

発表や論文文化に際して学会の許可を得る必要もありませんが、結果の解釈は発表者独自のものであることを明記する必要があるのでご注意ください。
是非皆さんご利用ください。

今年も統計調査へのご協力
よろしくお願い申し上げます

以上です。今後とも統計調査へのご協力をいただけますよう、よろしくお願い致します。